

双魚

川田 あひる

点滴注射針を抜かれ
夢のような
未来時間の乱道を
線香が一本足りない！
ご先祖さまの
悲鳴を
バトンされ買いに走る
シューズが硬く重く
難渋したが
線香は間に合った
激しい陣痛に
もう浣腸の間もない
いきなり分娩室の真実世界へ突入した
出産は
排泄と
同時に
ああ、あなたの瞳を一瞬閉じてください
雨上がりの
滝を昇る
双魚
が見えるでしょう
故郷の骨董屋のちいさな皿に描かれた
青い
命の
歓びを
聴きましたか
さあ、目をあけて
縄を絞りあげた
大昔の大仕事あとの
美しい声が
響きわたり
一卵性双生児の臍の緒を切断する光景が
飛び込んでくる
まぶしい
五月晴れの朝に。